

広報



たかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部10円)

●編集と発行 鷹巣町役場総務課秘書係
☎(2)-1111
●発行日 毎月1日・15日
●印刷所 榛秋北新聞社
広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に
配布しています。届かなかつたり、配布
が遅いときは、総務課秘書係へご連絡く
ださい。

No. 251・11・15



生 花 (教育文化祭)

と畜場建設用地取得費など

一千五百四十六万六千円を補正

と畜場建設敷地取得予算などを審議する昭和四十七年第八回臨時議会は十月二十八日役場議事堂で開かれ、一般会計補正予算案、土地取得についてなど四件が上提されそれぞれについて審議の結果、いずれも原案どおり決定閉会しました。

議会は、会期を一日と決めたと、それぞれの議案について審議しましたが決定された議案は次のとおりです。

◆一般会計補正
歳入歳出予算の総額にそれ

それ一千五百四十六万六千円を追加し、歳入歳出のそれぞれ総額は十三億三千八百五十六万九千円となりました。
(歳入)
▽特別会計繰入金九百四十六万六千円
▽町債六百万円

(歳出)
▽と畜場建設事業特別負担金八百四十万円
▽と畜場建設は鷹巣阿仁広域圏事業として行なわれるもので、建設費六千万円、一日の処理能力は、豚五十頭が見込まれております。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ九百四十六万六千円を追加し、歳入歳出のそれぞれの総額は三千九百九十六万六千円となりました。
(歳入)
▽土地売却収入九百四十六万六千円
▽財産管理費九百四十六万六千円

◆工事請負契約について
▽鷹巣町都市計画事業都市下

▽土地取得費七百六十七万円
▽と畜場建設敷地購入費六百六万六千円
同敷地造成費百万円

千円
◆土地取得について
と畜場建設用地および搬入道路用地として脇神字川戸沼内(戸地内七千七百二十六坪)を(二千三百三十三坪)を土地所有者十三名より、坪当り二千六百円、総額六百六万五千八百円で取得する。
(財産取得の場合、取得面積が五千平方メートルをこえる場合は町条例で議会の議決を求めることになっていきます。)

水路工事
契約金一千九拾万円
契約者 秋田機械建設株式会社
代表取締役 知野次郎
(本工事は、総延長一千八百九十米で昭和四十二年度より継続事業として行なっており、昨年まで二千三百二十九米が完成、本契約は舟見町裏から旧役場庁舎裏までの二百八十米となっております。なお、残部二百八十一米については、四十八年度事業となり、全工事が完了することになっていきます。)

栄 誉

このほど、次のかたがたが永年にわたる職責に対する功績が認められ、それぞれ価値ある栄誉を授与しました。

藍授褒賞

成田重右衛門さん



西横町成田重右衛門氏(55)は、永年にわたって県会議員を勤め、地方自治に対する功績が認められ、藍授褒賞を受賞しました。
成田さんは、昭和二十二年四月県議に初当選、現在六期目、この間、副議長を一期勤めている。

勲六等宝冠章

故・二階堂キヨさん



さる九月十一日死亡した、故二階堂キヨさんに勲六等宝冠章が贈られました。
二階堂さんは、婦人会長として、婦人の地位向上に貢献したほか、明正選挙運動、結核撲滅運動、日本赤十字活動の功績が認められたものです。

最高裁判所長官賞

大川利一さん



仲町大川利一氏(69)は、永年にわたって県調停委員としての功績が認められ、最高裁判所長官から表彰されました。
大川さんは、昭和十六年から県調停委員として裁判調停に大きな業績を残してきました。

県文化功劳章

小林操さん



東横町小林操さん(67)は、幼児教育が認められ、県文化功劳章を受章しました。
小林さんは、昭和十六年に保育園を開設、以来園児の保育に専念、幼児教育に尽くしてきました。
小林さんは県母子福祉連合会副会長の要職もつとめています。

心配ごと相談所

町社会福祉協議会では、毎週月曜日午前十時から午後三時まで、役場一階相談室で「心配ごと相談所」を開いています。
相談の秘密はかく守られますので、お気軽においでください。

町長日記

- 10月16日、10月31日
- 16日 鷹角線北国期成同盟会 広域事務所
- 17日 北鹿少年保護育成委員会大会 公民館

簡易耐火構造二階建住宅

南鷹巣に二十四戸完成

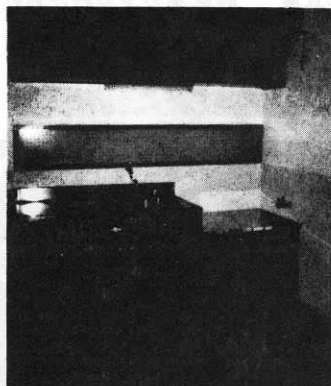
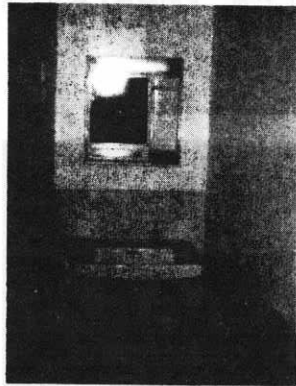
町では南鷹巣団地の再開発と住宅需要に対処するため、昨年度から五カ年計画で百戸の住宅を建設することにしており、今年度分二十四戸が完成しました。

完成した住宅は、簡易耐火構造二階建二十四戸。総工事費三千百四十万円となっています。一戸当たり面積は、四十三・八八平方(十三・二八坪)で、一階は台所兼居室、洗面所、風呂場、便所、二階は、

団地の再開発

住宅建設五カ年計画は、住宅需要に対処するのはもちろん

住宅建設五カ年計画は、住宅需要に対処するのはもちろん



(上)南鷹巣に完成した簡易耐火構造2階建住宅

(中)右側台所左側洗面所

2階、6畳

完成した住宅二十四戸は、二十五年度建設住宅十四戸を解体した跡地に建設したもので、四十八年度以降の解体戸数と建設戸数は次のとおりです。▽四十八年度 十七戸解体、二十四戸建設 ▽四十九年度 二十四戸解体、二十二戸建設 ▽五十年年度 十八戸建設。

住宅入居者

今年度建設住宅に入居の決まった方は次のとおりです。(住宅記号はK、数字は住宅番号です。) ①佐藤ミノリ ②小林忠男

人権擁護委員

- ③淡路義郎 ④小松正 ⑤山一男 ⑥佐藤進 ⑦三沢幸三郎 ⑧小塚きり子 ⑨沢田多一郎 ⑩佐藤武治 ⑪工藤光雄 ⑫藤島良子 ⑬工藤松三郎 ⑭富樫忠文 ⑮柏木武⑯宮腰佐吉 ⑰吉田忠男 ⑱大里修平 ⑲太田善吉 ⑳神成トモ ㉑工藤佐之助 ㉒佐々木正国 ㉓柳谷義与 ㉔笠原次太郎

人権擁護委員の仕事は、わたがしたちの人権が犯されないように監視し、もし人権が犯された人がいた場合は、相談相手になってこれを救済したり、人々の間に正しい人権の考え方を広めたりすることです。

みなさんが、毎日の生活を営んでいくうえで、法律上どのようなことになるかわからなかったり、困ったりするときは人権擁護委員をご利用ください。相談は無料でむすかしい手続きも必要なく、秘密も守られます。

町の人権擁護委員は、次のかたがたです。福原栄一 奈良幸恵 成田宗一 九島悦郎 鈴木重一郎



議会日誌

- 10月15日 10月31日 生涯教育推進大会 鷹巣小学校 生牛乳加工工場竣工式 綴子 18日 秋田県町村長教育厚生委員会 秋田市 19日 町内道路状況視察 鷹角線の陳情 鉄道建設公団盛岡支社 20日 建設省河川課長に陳情 大館 24日 東北地方治水大会 秋田市 25日 第八回臨時町議会 27日 佐藤外科消化器科医 院落成式 28日 第六回鷹巣町長杯争奪二市三郡東西対抗剣道大会 農林高校 30日 鷹角線の陳情 東京

教育文化祭

第4回鷹巣町教育文化祭は11月2・3の両日、鷹巣小学校、役場、公民館の三会場に日頃の成果を出しあい盛大に行なわれました。

鷹巣小学校会場では、小中学校の学芸発表と作品展示、理科研究発表、体験発表。

役場会場では、生花展、銘石展、生活展、内職展、お茶席。

公民館では、書道展、勤労青少年ダンスの集い、芸能発表などが行なわれましたが、どの会場も終日にぎわいをみせていました。



▶ 芸能発表会



▶ 婦人会員による生活展

半世紀の
栄光

▶すばらしいハイモニーをか
せてくれた東小学校児童



◀生花展参観風景



▶表千家による茶席

催しもの案内

町では、十一月を鷹巣町芸術文化振興強調月間として、多くの行事を計画しています。十五日以降の催しものは次のとおりとなっておりますので、町民多数のお越しをお待ちしております。

▼文学祭 十九日午後一時より役場で行ないます(短歌会、俳句会、読書会の三団体による第一回文学祭です)

▼邦楽祭 二十三日午前十時から鷹巣神社長床で行ないます(謡曲研究会、詩吟

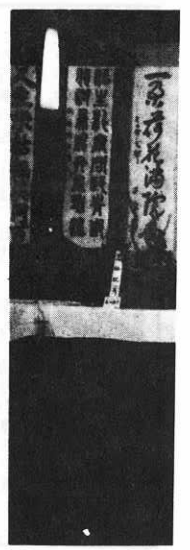
▼文化財展 二十六日役場で行ないます。(町内の文化財である古文書や書画、骨とう、教科書等を展示紹介、あわせて古文書の解説講習会も行なう予定です。)

▼教育美術展 二十七日から三十日まで役場で行ないます。(レリーフ巧芸画三十点。世界的有名な画家の複製画で本物とほとんど変らず、教育的、芸術的に価値のあるものです。)



▲銘石展

力作 <条幅>



国民年金

来年度も大幅引き上げを目ざして

十年年金二・五倍アップ(予想)

国民年金のあり方を審議する国民年金審議会では、来年度から国民年金をグンと改善しよう、次のような意見書をまとめました。

この意見書によると、昨年

から支給の始まった十年年金や昭和五十年から支給が開始される五十年年金の年金額を二・五倍に引き上げようとしています。これが実現すると、十年年金は現在月五千円のもの

が月一万二千五百円のもの、五年年金は月二千五百円のもの、月六千二百五十円となります。また二十五年以上かけ金を納める本来の老令年金の額は倍額程度引き上げ、加算年金とあわせて、夫婦で五万円、年金の実現を目指そうとしています。

十歳以上のおとしりに支給している老令福祉年金は現在月三千三百円であるものを月五千円にしようとして予算要求をしています。

核家族化の進行や平均寿命の伸びなどから、老後に年金の果たす役割はますます大きくなっていきます。いまから年金には十分留意しておいて、将来の生活に備えましょう。

胃集団検診結果

男は胃炎・女は胃下垂が多い

ことしの七・八月に行なわれた胃集団検診結果(別表)によると、胃に異常の認められた人が約八割、五人に四人の割合でした。

これは、四十三年の二人に一人より大幅に上回っており、フィルム撮影枚数が三枚から

六枚となり、検診内容が精密になったとはいえ潜在する患者の多いことがうかがわれます。

結果表によると、男は胃炎、胃腫瘍が多く、女は胃下垂、胃炎の多いのが目立ちます。また、再検診の必要な方は約

三人に一人の割合で、胃潰瘍、胃腫瘍または胃ポリープ等の疑いであった。この三人に対し一人の割合(二七・八%)は、四十三年の十三%に対して二倍の高さになっている。以上の結果をみてもわかるように、自分の健康をもっと関心を持ち、進んで諸検診をうけ、早期受診、早期治療に努め健康管理に気をつけるようにしましょう。

県民手帳を配付

さきに予約を受け付けました四十八年用秋田県民手帳が入荷しましたので、予約した方は役場企画室で代金百二十円と引き替えにお受けとりください。

なお、残冊が五十部ほどありますので購入希望者は申し込みください。

胃集団検診結果表

	男		女	
異常なし	80	19.5%	148	17.0%
胃炎	121	29.5	219	25.0
胃下垂	53	12.9	289	32.8
胃潰瘍	88	21.5	110	12.6
胃腫瘍	36	8.8	49	5.6
胃ポリープ	11	2.7	32	3.7
切除胃	7	1.7	5	0.6
胆石			5	0.6
瀑状胃	2	0.5	5	0.6
12指腸潰瘍	9	2.2	10	1.1
12指腸憩室	2	0.5	3	0.4
腎結石	1	0.2	1	0.1
計	410	100%	874	100%
再検診	145	35.4	212	24.2



日中の日射は弱まり、日の暮れるのが早くなりました。庭の落葉も日ごとに数を増し、ほうきを持つ手に風の冷たさを感じられます。

七・五・三



と五歳、女の子は三歳と七歳のとき、成長を祝う行事で、それだけの儀式として氏神さまにお参りするのが例ですが、歴史的には、三歳の祝いには着物の付けヒモをとって帯をしめ始める女の子のお祝い。五歳は男児の「袴着(はかまぎ)」ともいい、初めて袴をつける祝いです。七歳は男女児とも幼児期の終りとして重んじられた年令で「紐直(ひもなおし)」のお祝い、といって帯のしめ初めを祝うこととされてきたようです。

勤労感謝の日

十五日は、七五三のお祝い。つまり三歳、五歳、七歳になったお子さんのお祝い、生後発育が心配された子どもが、よくこれまでに育ってくれたと思う親心、今後もどうか丈夫でい子になってくれるようにと願う気持ち、江戸時代から伝えられたものようです。

二十三日は「勤労感謝の日」です。法律で決められている国民の祝日は一年間のうち十二あり、この日です。ことしの祝日は全部終ることになります。

勤労感謝の日は、むかしから伝わっている農作物の収穫感謝の風習を生かしながら、勤労の尊さを重んじて、勤労のおかげで、あらゆる生産物に恵まれたことを祝いおたがいに感謝し合おうという日です。

一般的には、男の子三歳

事故から自分を守ろう

自転車の整備と安全な乗り方

最近の交通事故に、子どもや老人の自転車乗車中のものがふえています。

自転車は、だれでも気やすく乗りまわすことができることから、就学前の幼児から、小中学校の児童生徒では七割以上が自転車を持っていて、いわれます。

ところが、安全な乗り方を知らなかったり、整備不良、ふらふら運転などの運転未熟による事故が多いようです。中央小学校でもぜひこのような自転車による事故を未然に防ごうと児童の車体検査や安

全な乗り方教室を開き、検査の結果、合格者には許可証を交付、不合格となった者は道路上では乗ってはいけないこととしています。

そこで、中央小学校の許可証交付条件の一部を次にあげてみましたので、みなさんも一度自分の身を守るため自分のほもちろん、子どもの自転車もときどき点検して不備な点は修理してやってみてください。

- ① 点検項目
- ② 整備が完全にいきとどいて

- ③ サドルにまたがって両足が地面にとどくか
- ④ プレーキのかけ方はよいか

左側通行をしているか

中央小交通安全委員会

警察局長表彰

交通安全のため積極的な指導を行なっている、中央小学校交通安全委員会に対し、その功績をたたえ東北管区警察局長表彰の伝達がありました。

佐藤署長から同校児童会長中島英也君に表彰状と記念品が贈られました。

この表彰は、地方の交通関係団体表彰では最高の栄誉とされています。

精神健康を

考えよう

人の健康とは、身体的に健全な状態であるばかりでなく、精神的、社会的にも完全に健全な状態にあり生きがいを感じたものであることをさします。

文明が進み経済が発展して、社会生活が一層複雑化している現在、わたしたちの生活も

上舟木の天然杉 風致保護林に設定

林野庁 第二次地域 施業計画で、上舟木沢国有林が、風致保護林に設定され、樹令百五十年から二百年の天然杉が伐採されることなく



保存されることになりました。上舟木は、昔、秋田杉が用材としてたくさん産出されたことから舟木という部落が誕生したといわれ、ここ数年で天然の秋田杉が消滅するといわれることから上舟木部落では、孫や子のためにもぜひ天然の秋田杉を残してほしい

と鷹巣営林署に要望していたのが採択されたものです。風致保護林は、自然保護と風致維持をかねて設定されるものであるが、秋田営林局管内では仁別国民の森など四カ所だけの設定となっており、保護林には、樹令百五十年

から二百年。樹高四十米の天然杉約百本のほかに広葉樹が繁茂し、みごとな景観です。設定林は、上舟木部落から林道鷹巣線を二、三入ったところですので、舟木沢流域に参りましたらぜひご覧くださるとともに保存のためご協力を願います。

それらの影響を受けずにいません。よく言われるように、物質的には豊かな社会となりましたが、その反面、人口の過密と過疎化の進行、自然破壊や公害の発生等生活環境の悪化など、われわれが考えなければいけない問題は増加しています。

このような状況のなかで「精神衛生」というと何かむずかしくてわかりにくい、わたしたちには直接関係のないものであるかのように思われていますが、これは精神衛生を狭い領域から考えることに原因があるようです。しかしこれは住民の日々の生活に係

る必要で重要な問題です。とかく精神に異常があるという、不名誉なことだとか遺伝だとか、誤解から生ずる不幸が実際大へん多いようです。本来的にはこのような引け目を感じる必要はないわけです。

ハンターの皆さん お願いします

狩猟シーズンになりました

十一月十一日から十七日までは「精神衛生普及運動」にあたっていきます。この機会に住民一人一人が精神衛生について、正しい理解と認識をもちたいものです。

